

令和6年度 第1回博物館協議会
資 料

日 時 令和6年10月24日(木) 午前10時30分

会 場 朝霞市博物館 講座室

(1) 令和 5 年度事業報告

令和 5 年度（2023年度）博物館事業報告
 令和 5 年（2023年）4月 1 日～令和 6 年（2024年）3月 31 日

令和 6 年 3 月 31 日現在

1 令和 5 年度利用統計

年度	開館日数	入館・利用者数 (団体含む)	学校団体		一般団体	
			団体数	人数	団体数	人数
令和 5 年度	290 日	25, 118 人	26 団体	2, 303 人	99 団体	1, 016 人
令和 4 年度	285 日	24, 774 人	23 団体	1, 267 人	25 団体	222 人
平成 8 ～令和 3 年度	7, 049 日	1, 182, 576 人	915 団体	68, 643 人	2, 941 団体	38, 572 人
合 計	7, 624 日	1, 232, 468 人	964 団体	72, 213 人	3, 065 団体	39, 810 人

2 令和 5 年度事業報告

※展示の参加人数は入館・利用者数から出張事業人数を除いたもの

	事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	－	【通年】	24, 170 人
	民俗分野 「むかしの 暮らし」	昭和 30～40 年代頃のくらしの風景や道具について紹介する。	－	【日程】 4 月 22 日（土） ～8 月 20 日（日） ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	7, 689 人
	美術・工芸分野 「朝霞の 美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	－	【日程】 4 月 22 日（土） ～7 月 2 日（日） ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	3, 832 人
第 37 回企画展	第 37 回企画展 「樹木と人の暮らし」	人の暮らしには樹木が深く関係しており、切り離せないものとなっている。樹木が人々の生活の中で、どのように関わっているのか、家具、道具、おもちゃなどを中心に紹介する。	－	【日程】 10 月 14 日（土） ～11 月 26 日（日）	2, 993 人
	企画展関連体験教室 ①「行燈をつくろう！」 ②「凧をつくろう！」	①木材の枠に絵を描いた和紙を貼って、オリジナルの行燈をつくる ②和紙に好きな絵を描いて、自分だけのオリジナル凧をつくる	小学 1～6 年生 (1・2 年生は保護者同伴)	【日程】 ①10 月 28 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 ②11 月 19 日（日） 午後 1 時 30 分～3 時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	定員各回 12 人 ① 12 人 ② 12 人
テーマ展示	朝霞市県展作品展	第 71 回埼玉県美術展覧会（県展）において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	－	【日程】 9 月 9 日（土） ～24 日（日）	1, 418 人
	出品者内覧会	出品者による内覧会	出品者	【日程】 9 月 7 日（木） 午前 10 時～11 時	18 人

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
ギャラリー展示	「朝霞の神社と古事記のおはなし」	—	【日程】 4月1日(土) ～6月4日(日) ※前年度継続事業 1月31日(火)～	3,824人 ※前年度～4,506人
	「あさか発掘調査速報展 —足元に眠る地域の記憶—」	—	【日程】 7月1日(土) ～9月3日(日)	5,171人
	「朝霞と地震 —関東大震災から100年を迎えて—」	—	【日程】 令和6年2月3日(土) ～4月7日(日) ※次年度に継続	4,275人
収蔵資料展示	収蔵資料展示 「絵図・地図にみる朝霞」	—	【日程】 7月22日(土) ～8月20日(日)	2,813人
	小学校3年生博物館利用授業展示 「昔の道具」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について、常設の民俗展示を拡充して紹介する。	【日程】 ①4月1日(土) ～4月9日(日) ※前年度継続事業 1月17日(火)～ ②12月23日(土) ～令和6年4月7日(日) ※次年度に継続	① 622人 ※前年度～5,748人 ② 7,467人
資料紹介展示	「独楽」	—	【日程】 4月29日(土) ～7月2日(日)	3,489人
	博物館体験教室関連展示 「ワタから糸へ」	—	【日程】 ①2月4日(土) ～4月9日(日) ※前年度継続事業 2月4日(土)～ ②12月1日(火)～ ～令和6年4月7日(日) ※次年度に継続	① 622人 ※前年度～3,916人 ② 8,465人
	博物館実習生展示 ①「絵馬」 ②「比べてみよう！2つの時代～昭和10年と昭和40年～」 ③「集まれ！あの頃の少年少女～人気キャラクターの移り変わり～」	博物館実習生3班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。※展示ケース3台による	—	【日程】 8月23日(水) ～9月5日(火)
生体展示	「朝霞で見られる水の生き物」	—	【通年】	24,170人
	「博物館で生まれたカブトムシ」	—	【日程】 7月22日(土) ～8月20日(日)	3,795人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
講座	歴史講座 (連続3回)	①朝霞の村の仕組み 「五人組帳」から江戸 時代の村社会について 解説する ②村の事件簿① ③村の事件簿② 朝霞市域に残された古 文書から、地域で起き た事件等の出来事を読 み解く	どなたで も(市民 優先)	【日程】 令和6年 ①2月24日(土) ②3月2日(土) ③3月9日(土) 【講師】 ①近世史研究家 宮原 一郎 氏 ②③立正大学専任講師 栗原 健一 氏	定員各回 40 人 ① ①32 人 ② ②32 人 ③ ③31 人
	古文書講座 ～はじめての 古文書～ (連続6回)	朝霞市内に残る古文書 を読み解き、古文書の 読み方とともに地域の 歴史を学ぶ。	どなたで も(市民 で初めて の方優 先) ※連続受 講可能者	【日程】 ①12月10日(日) ②12月24日(日) 令和6年 ③1月7日(日) ④1月21日(日) ⑤2月11日(日) ⑥2月25日(日) 各回とも午前10時～正午 【講師】 立正大学専任講師 栗原 健一 氏	定員各回 36 人 ① 35 人 ② 33 人 ③ 35 人 ④ 34 人 ⑤ 37 人 ⑥ 34 人
博物館体験教室	①「たたき独楽 を回して みよう！」	日本の伝統文化に対 し、興味と理解を育て るために、様々な地域 の特色ある独楽を実際 に回す体験教室を実施 する。	どなた でも	【日程】 5月5日(金・祝) 午後1時 ～午後3時30分 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	9組 21 人
	②「はじめての 篆刻」	篆刻を通し、字形の歴 史を学ぶことを目的と し、彫刻刀で石を掘 り、オリジナルの印鑑 を作成する。	市内在住 で18歳 以上の方	【日程】 9月23日(土) 午後1時30分～4時30分 【講師】 埼玉大学講師 大東文化大学オープンカ レッジ講師 権田 逸廬 氏	定員 6 人 6 人
	③「火おこしに 挑戦！」	木製発火具等を使って 火をおこす。考古学、 ひいては郷土史への関 心を喚起する。	どなたで も(小学 生以上は 子どもの みでの参 加可)	【日程】 12月3日(日) ①午前10時～11時 ②午後1時30分 ～2時30分 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員各回 5 組 (1組 2～4人) ① 7 組 22 人 ② 5 組 16 人 計 12 組 38 人
	④「おりがみで 干支を折ろう！」	年始という実施時期を 鑑み、干支である 「辰」に因んで「た つ」を折り紙で制作し た。	小学5年 生以上	【日程】 令和6年1月6日(土) ①午前9時30分～正午 ②午後1時30分～4時 日本折紙協会講師 本多 秀子 氏	定員各回 12 人 ① 13 人 ② 9 人
	⑤「糸車で糸を 紡ごう」	糸車を使って綿から糸 を紡ぎ、綿の繊維を引 き出し撚りをかけ、巻 き取るという糸を紡ぐ 工程を学ぶ。	どなたで も(小学 校3年生 以下は保 護者同 伴)	【日程】 ①令和6年 3月23日(土) ②3月24日(日) (1)午前10時～ (2)午後1時30分～ (3)午後3時～ 【講師】 当館学芸員等	定員各回 6 組 ① 23 組 64 人 ② 24 組 70 人

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計	
夏休み体験教室	① 「まが玉をつくろう！」	小学生	【日程】 8月3日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員各回 12人 ① 12人 ② 12人	
	② 「コースターをつくろう！」	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 8月10日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 菅井 美穂子 氏	定員各回 12人 ① 14人 ② 15人 ※保護者含む	
	③ 「鏡づくりに挑戦！」	小学3～6年生	【日程】 8月24日(木) 午後1時30分～4時 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員 12人 12人	
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	市内小学校3年生	①1月16日(火)八小2C ②1月17日(水)八小3C ③1月18日(木)六小3C ④1月19日(金)六小3C ⑤1月23日(火)九小2C ⑥1月24日(水)一小2C ⑦1月25日(木)七小4C ⑧1月30日(火)五小4C ⑨1月31日(水)五小2C ⑩2月1日(木)二小4C ⑪2月2日(金)四小3C ⑫2月7日(水)三小4C 八小1C ⑬2月8日(木)一小1C ⑭2月29日(木)十小4C	① 61人 ② 98人 ③ 96人 ④ 88人 ⑤ 62人 ⑥ 74人 ⑦ 140人 ⑧ 114人 ⑨ 60人 ⑩ 131人 ⑪ 91人 ⑫ 155人 ⑬ 34人 ⑭ 121人	
	小学校1年生 博物館利用授業	市内小学校1年生	①1月30日(火) ～2月2日(金)八小6C (貸出のみ) ②2月14日(水)四小3C ③2月15日(木)三小4C ④2月16日(金)七小4C ⑤2月20日(火)二小4C ⑥2月21日(水)十小4C ⑦2月22日(木)一小3C ⑧2月27日(火)五小5C ⑨3月1日(金)九小2C	① — ② 94人 ③ 141人 ④ 116人 ⑤ 125人 ⑥ 135人 ⑦ 101人 ⑧ 160人 ⑨ 76人	
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。	市内小中学校教諭	【定例会兼研修会】 7月5日(水) 午後3時30分～4時30分 【主催】 博物館利用検討委員会	16人
	博物館学芸員実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。	大学生	【日程】 8月15日(火) ～8月22日(火) (※6日間)	8大学 8人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
調査	古文書調査	古文書目録の整理及び解読を行う。 目録「比留間ヨシ家文書」 解読「細田優家文書」	—	通年	—
	自然史資料調査	博物館や文化財所管施設の自然史資料（生態系等）の調査を行う。	—	通年	—

3 刊行物・広報

刊行物	『朝霞市県展作品展』	ポスター 300 枚 (令和 5 年 8 月 31 日発行) ハガキ 800 枚 (令和 5 年 8 月 31 日発行) リーフレット 1,100 枚 (令和 5 年 9 月 7 日発行)
	『樹木と人の暮らし』	展示図録 850 部 (令和 5 年 10 月 13 日発行) ポスター 500 枚 (令和 5 年 9 月 22 日発行) チラシ 13,000 枚 (令和 5 年 9 月 22 日発行)
	『朝霞市博物館研究紀要』 第19号	400部 (令和 6 年 3 月31日発行)
広報	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。	情報誌等 : 5 件 新聞 : 3 件 インターネットサイト : 2 件 ラジオ : 1 件 広報あさか : 毎月号 ホームページ : 随時更新 メール配信サービス登録者 : 随時

4 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策解除（常設展示のハンズオン資料を再開、HPからコロナ対策を削除）
令和 5 年 5 月 9 日 (火)

(2) 館内くん蒸による臨時休館
令和 5 年 6 月 16 日 (金)～令和 5 年 6 月 22 日 (木) 【7 日間】

(3) 利用者アンケート 【令和 6 年 3 月 31 日現在】

・ 4 月 1 日 (土)～3 月 31 日 (水) うち開館日数 : 290 日
 入館者数 : 25,118 人 うちアンケート回答者数 : 147 人 (0.6%)

(4) 県展アンケート

・ 9 月 9 日 (土)～9 月 24 日 (日) うち開館日数 : 14 日
 入館者数 1,418 人 うちアンケート回答者数 : 22 人 (1.6%)

(2) 令和 6 年度事業計画及び進捗報告

令和6年度（2024年度）博物館事業報告
 令和6年（2024年）4月1日～令和6年（2024年）9月30日

令和6年9月30日現在

1 令和6年度 利用統計

年度	開館日数	入館・利用者数 (団体含む)	学校団体		一般団体	
			団体数	人数	団体数	人数
令和6年度	145日	13,381人	1団体	4人	72団体	701人
令和5年度	290日	25,118人	26団体	2,303人	99団体	1,016人
平成8年～令和4年度	7,334日	1,207,350人	938団体	69,910人	2,966団体	38,794人
合計	7,769日	1,245,849人	965団体	72,217人	3,137団体	40,511人

2 令和6年度 事業報告

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	—	【通年】	13,381人
	民俗分野「むかしの暮らし」	—	【日程】 6月22日(土) ～9月1日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	5,694人
	美術・工芸分野「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	—	【日程】 6月22日(土) ～9月1日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替
企画展	第38回企画展「根岸古墳群と内間木古墳群～朝霞の古墳時代～」	—	【日程】 令和7年3月 ～5月(予定)	
	企画展関連講演会「埴輪から見た古墳時代の朝霞(仮)」	未定	【日程】未定	
	企画展関連体験教室 ①火おこしに挑戦! ②まが玉をつくらう!	①火おこしの歴史について学習した上で、木製発火具や火打石を使って火をおこす。 ②勾玉について学習した上で、ろう石を削り磨いて勾玉をつくる。	①どなたでも ②小学生	【日程】未定
テーマ展示	「池田幹雄追悼展」	—	【日程】 5月1日(水) ～5月31日(金) ※感謝状贈呈式5月22日(水)	2,849人
	「朝霞市県展作品展」	—	【日程】 9月14日(土) ～9月29日(日)	1,921人
	出品者内覧会	出品者による内覧会	出品者 【日程】 9月11日(水)	10人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
ギャラリー 展示	「朝霞と地震-関東大震災から100年を迎えて-」	関東大震災から100年を迎えた今、館蔵資料により当時を振り返るとともに、朝霞市域の地震の歴史、現在の朝霞市の対策などについて紹介する。	-	【日程】 令和6年2月3日(土) ～4月7日(日) ※前年度継続事業	495人 前年度4,275人 計4,770人
	「あさか発掘調査速報展-足元に眠る地域の記憶-」	令和5年度に実施した市内の発掘成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	-	【日程】 7月13日(土) ～9月1日(日)	4,251人
	冬のギャラリー展示 「タイトル未定」		-	【日程】 令和7年 1月	
収蔵資料 展示	小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」①	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について、常設の民俗展示を拡充して紹介する。	-	【日程】 令和5年12月23日(土) ～4月7日(日) ※前年度継続事業	495人 前年度7,467人 計7,962人
	小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」②		-	【日程】 令和7年 1月	
資料紹介 展示	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示する。	-	【日程】 4月27日(土) ～6月30日(日)	4,523人
	博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」①	綿織り機や糸車をはじめとする体験用使用などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	-	【日程】 令和5年12月1日(金) ～4月7日(日) ※前年度継続事業	495人 前年度8,465人 計8,960人
	博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」②		【日程】 令和7年 1月		
	博物館実習生展示「鳥と朝霞市の関係」・「オリンピックと朝霞」	【日程】- 博物館実習生2班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース2台による	-	【日程】 8月28日(水) ～9月3日(火)	515人
生体 展示	「朝霞で見られる水の生き物」	コイ・フナ・ドジョウ・アメリカザリガニなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。	-	【通年】	4,523人
	「博物館で生まれたカブトムシ」	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	-	【日程】 7月14日(日) ～9月3日(火)	4,215人

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計	
講座	歴史講座 (連続3回)	朝霞や周辺地域における郷土史について学習する。	どなたでも(市民優先) 【日程】 令和7年1月～3月 【講師】 大学教授等	定員各回 人	
	古文書講座 ～はじめての古文書～ (連続5回)	朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	どなたでも(市民で初めての方優先) ※連続受講可能者 【講師】 大学教授等	定員各回 人	
博物館体験教室	①「たたき独楽を回してみよう！」	日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施する。	どなたでも 【日程】 5月5日(日・祝) 午後1時～午後3時30分 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	21人	
	②「はじめての篆刻」	篆刻を通し、字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘り、オリジナルの印鑑を作成する。	市内在住で18歳以上の方 【日程】 9月22日(日) 午後1時30分～4時30分 【講師】 日展準会員 読売書法会常任理事 岩村 節廬 氏	定員 6人 6人	
	③「凧をつくろう！」	竹と和紙を使用して凧を作成する。竹や和紙を身近に感じてもらい、当時の様子や遊びを想像する。	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 11月2日(土) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	定員 各回12人
	④「まが玉をつくろう！」	ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 11月24日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後2時～午後3時30分 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員 各回16人
	⑤「火おこしに挑戦！」	木製発火具等を使って火をおこす。考古学、ひいては郷土史への関心を喚起する。	どなたでも(小学2年生以下は保護者同伴)	【日程】 12月1日(日) ①午前10時～11時 ②午後2時～3時 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員 各回8組
	⑥「おりがみで干支を折ろう！」	年始という実施時期を鑑み、干支である「巳」に因んで「へび」を折り紙で制作する。		【日程】 令和7年1月	
	⑦「糸車で糸を紡ごう」	糸車を使って綿から糸を紡ぎ、綿の繊維を引き出し撚りをかけ、巻き取るという糸を紡ぐ工程を学ぶ。		【日程】 令和7年3月	

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
夏休み体験教室	①「まが玉をつくろう！」	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 8月1日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	定員各回12人 12人 12人
	②「あんどんをつくろう！」	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 8月8日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	定員各回12人 12人 12人
	③「コースターをつくろう！」	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 8月18日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 菅井 美穂子氏	定員各回12人 10人 10人
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	市内小学校3年生	【3学期】1月～2月	—
	小学校1年生 博物館利用授業	市内小学校1年生	【3学期】2月～3月 各学校の希望日	
	博物館利用 検討委員会	市内小中学校教諭	【定例会兼研修会】 時期未定 【主催】 博物館利用検討委員会	16人
	博物館学芸員実習	大学生	【日程】 8月20日(火) ～8月27日(火) (※7日間)	5大学 5人

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
調査	古文書調査	—	通年	—
	自然史資料調査	—	通年	—

3 刊行物・広報

刊行物・広報等	「朝霞市県展作品展」	ハガキ リーフレット	300枚（令和6年 9月 7日発行） 600枚（令和6年 9月 7日発行）
	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。	新聞社：1件 情報誌等：3件 広報あさか：毎月号 ホームページ：随時更新 メール配信サービス登録者：随時	

4 その他

(1) 館内くん蒸による臨時休館

令和6年6月14日(金)～6月21日(金) 【8日間】

(2) 外壁等改修工事

令和6年5月15日(水)～令和7年1月31日(金)

主な工事内容：外壁タイル及び金属屋根補修、コンクリート部分塗装、屋上防水等

(3) 利用者アンケート 【令和6年9月30日現在】

・4月1日(月)～9月30日(月)

入館者数・・・13,381人

うち開館日数：145日

アンケート回答数：89人 (0.66%)